

議会広報特別委員会

よりよき議会だより を目指して!

～会議録センターとたくみの里を視察～

埼玉県鴻巣市にある会議録センターは、桜川市議会の会議録の反訳と議会だよりの編集作業を依頼している会社です。研修では、市民に親しまれる『議会づくり』編集のノウハウや、パソコンを使った編集作業の説明を受けました。また、会議録検索システムや議会中継システムも説明を受け、議会だよりだけではなく、ITを活用した開かれた議会を学びました。



また翌日は、都市と農村の交流をテーマとした群馬県みなかみ町にある「たくみの里」を訪問しました。たくみの里は旧新治村が昭和62年に開設した施設で、さまざまな伝統工芸等が体験でき、近年は年間約50万人が訪れているそうです。たくみの里のある須川宿(旧三国街道の宿場町)は、町並み景観も美しく整備されており、本市においても町並みや里山の景観を保存しながら、人を活かし地域を活かしたまちづくりが望まれています。

視察日：平成19年6月21日、22日
視察先：埼玉県鴻巣市、群馬県みなかみ町
目的：議会だより編集、伝統工芸視察

北関東自動車道

「(仮称)岩瀬IC」の名称は?

筑西市及び筑西市議会より、来年秋開通予定の北関東自動車道(仮称)岩瀬インターチェンジの名称について、「桜川筑西インターチェンジ」としてほしいとの要望がありました。

当市議会では、6月5日と7月11日に開催された議会全員協議会にて、この要望を協議し、受け入れることにいたしました。

今後は、東日本道路公団とこの名称について協議し、開通前に名称が決定することになります。このインターチェンジの開通により、桜川市、筑西市が大きく発展することが望まれます。

住民監査請求にかかる訴訟

平成19年4月2日、市民の方より市監査委員会に、市長交際費と議会常任委員会研修費の支出について住民監査請求が提出されました。市監査委員会は4月17日に監査結果報告書を送付、5月15日に開催された議会全員協議会においても、議会選出の監査委員から「問題はない」という報告がありましたが、その内容を不服とした住民監査請求者の方より、5月31日に水戸地方裁判所に訴訟があり、現在係争中となっています。

地域間の差をなくすために

合併してもうすぐ2年が経とうとしていますが、この間、議会においても地域間の差をなくすため、種々協議を重ねてまいりました。

ことしの4月には大きな課題であった水道料金も統一となり、また、今年度中には市民憲章や市の花・木・鳥などを定める予定で、徐々にではありますが一体性が芽生えつつあります。

しかし、まだまだ課題も山積しております。6月の定例会では、各地区の公民館分館の取り扱いや防犯灯の管理体制が取り上げられました。

すべてを統一することは時間がかかるかもしれませんが、1日も早く地域間の差をなくすために、これからも執行部とともに調査・検討を行ってまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

今井房之助氏、塚本 明氏に感謝状!



塚本 明氏



今井房之助氏

桜川市議会初代議長
今井房之助氏に、
長年の功績により、
治の発展と市政の向上に
尽力された功績により、
県議会議長から感謝状が贈られました。

閉会中の審査報告

閉会中も市の計画・事業・課題等について、調査・審査をしています

4 常任委員会 合同委員会

7月11日、桜川市の新市建設計画について、4常任委員会合同委員会が開催され、進捗状況や今後の計画について質疑が行われました。

執行部より提案(合併特例債事業)のあった事業スケジュール

前期	事業名	年度	地区
	大和中学校改築事業	平成17～20年度	大和地区
	多目的複合施設建設事業 (埋蔵文化財センター建設含む)	平成19～22年度	真壁地区
	幹線道路整備事業(つくば益子線大和工区)	平成18～24年度	大和地区
	岩瀬駅跨線歩道橋・図書館整備事業	平成20～23年度	岩瀬地区
後期	都市計画道路整備事業(松田西小鳩線)	平成23年度以降	岩瀬地区
	幹線道路整備事業(つくば益子線岩瀬工区)	平成23年度以降	岩瀬地区
	休憩施設建設事業(上曾トンネル坑口付近)	平成24年度以降	真壁地区
	新庁舎建設事業	平成24年度以降	

県道つくば益子線・本木バイパスについて

問 今の計画では効果がない。真壁町白井地区まで法線を伸ばすべきでは。

答 合併特例債の事業期間は10年間で、県道は7年間で行う予定です。白井地区まで伸ばすと費用が3倍かかります。

要望 白井地区まで伸ばすのは樺穂小に通う子どもたちの安全のため。これを視野に入れてほしい。

問 県道なのに、県は補助金を出さないのか。

答 全体事業費10億5,000万円のうち66.5%、6億9,825万円が交付税措置です。県の補助は23.45%、2億4,622万5,000円です。市の負担分は10.05%、1億552万5,000円となります。

問 全員の同意が得られなければ事業は進めないのか。

答 反対があるときは進めません。

多目的複合施設の設備

問 多目的複合施設の中に資料館は入るのか。収蔵庫や空調も必要ではないか。

答 資料館も入ります。収蔵庫も検討してまいります。

要望 展示は常設展示が常識、貴重品もだめにならない設備が

大切。膨大な民具の収納も考えてほしい。

問 多目的複合施設の事業費20億円の内訳は。

答 設計は約3,200㎡を想定し、建物は地上3階、地下1階を予定しています。費用には建物だけではなく設備等も含まれています。

問 駐車場も含め、面積は大丈夫か。

答 敷地が狭いため、資料館の東側の土地をお借りし、駐車スペースを考えていきます。

問 建設に当たっては真壁の住民や議員にも相談してほしい。

答 建設委員会を立ち上げて検討していきます。

大和中学校のエレベーター

問 中学校のエレベーターは何に使うのか。障害児童の受け入れは。

答 給食の運搬や、障害のある生徒の受け入れ体制を考慮しました。

岩瀬駅前跨線橋の状況は

問 JRとの合意は。駅前通りからまっすぐ行けるのか。

答 旧岩瀬町時代にJRと話をしましたが進展していません。橋上駅の方がいいという回答をJRからいただいています。

新市建設計画の展開は

問 新市建設計画に対する市長の考え方は。

答 当初、大和中学校建て替えは入っていませんでしたが、総枠を変えずに特例債を使うということ、多目的複合施設の中に埋蔵文化財センターを入れること、また、期間を前期と後期に分け、岩瀬地区の跨線橋・図書館建設までを前期とすることについてご理解をいただきたい。

問 埋蔵文化センターと多目的複合施設が一緒になることは何も聞いていない。上曾トンネル出口の休憩施設と一緒にいいのでは。

答 厳しい財政事情の中、効果の発揮できる施設をつくってきたい。また、トンネルの進捗状況が見えていないため、特例債10年間という縛りを考えて提案しました。

問 岩瀬地区の事業が遅れている。前期と後期に分ける必要があるのか。財政のことをお尋ねしたい。

答 実質公債比率14.9%。このまま事業を続けると、5億円くらい起債残高が増え、厳しい状況になります。

答 岩瀬跨線橋は20年度に予算をつけたい。後期の事業は議会と相談しながら進めていきたい。

全21議案を審議しました

質問者本人が要約しています

構成は臨時号に載っています

閉会中も審議しました

議案審議

一般質問

委員会報告

閉会中の審議